

銃砲刀剣類所持等取締法第9条の3の2第2項に基づくクロスボウ射撃指導員の指定の解除に係る処分基準新旧対照表（案）

（改正部分は、下線部分である。）

| 旧   | 新  |                   |                    |                                |                   |   |   |
|---|--|-------------------|--------------------|--------------------------------|-------------------|---|---|
| (新設)  | <p style="text-align: center;"><u>処分基準</u></p> <p style="text-align: right;">令和●年●月●日作成</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 2px;">法 令 名：銃砲刀剣類所持等取締法</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">根 拠 条 項：第9条の3の2第2項</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">処 分 の 概 要：クロスボウ射撃指導員の指定<br/>の解除</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">原権者（委任先）：福岡県公安委員会</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">           法 令 の 定 め：<br/> <u>銃砲刀剣類所持等取締法第9条の3の2第1項</u><br/>           （クロスボウ射撃指導員）・第2項<br/> <u>銃砲刀剣類所持等取締法施行規則第42条の2</u><br/>           （クロスボウ射撃指導員の基準）         </td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">           処 分 基 準：<br/> <u>銃砲刀剣類所持等取締法施行規則第42条の2</u><br/>           各号について、その適合性の有無を判断し、い<br/>           ずれかの項目に不適合と判明すれば、指定を解除す<br/>           る。<br/>           なお、同規則に定めるクロスボウ射撃指導員の<br/>           指定の基準中<br/>           （1）「クロスボウに関する法令」とは、銃砲刀<br/>           剣類所持等取締法、鳥獣の保護及び管理並び<br/>           に狩猟の適正化に関する法律等の法律、これ<br/>           らに基づく命令及びこれらに基づく行政庁の<br/>           処分を指す。<br/>           （2）「相当な人格識見」とは、クロスボウの射<br/>           撃に関するものにとどまらず、社会生活全般<br/>           におけるそれを指す。<br/>           （3）「相当な知識」、「相当に習熟」とは、一<br/>           般的な知識、技能にとどまらず、指導の相手<br/>           方の個別具体的事案に即して指導可能な程度<br/>           に知識、技能を有するという趣旨である。<br/>           これらは、指定時の水準を基準として判断する         </td> </tr> </table> | 法 令 名：銃砲刀剣類所持等取締法 | 根 拠 条 項：第9条の3の2第2項 | 処 分 の 概 要：クロスボウ射撃指導員の指定<br>の解除 | 原権者（委任先）：福岡県公安委員会 | 法 令 の 定 め：<br><u>銃砲刀剣類所持等取締法第9条の3の2第1項</u><br>（クロスボウ射撃指導員）・第2項<br><u>銃砲刀剣類所持等取締法施行規則第42条の2</u><br>（クロスボウ射撃指導員の基準） | 処 分 基 準：<br><u>銃砲刀剣類所持等取締法施行規則第42条の2</u><br>各号について、その適合性の有無を判断し、い<br>ずれかの項目に不適合と判明すれば、指定を解除す<br>る。<br>なお、同規則に定めるクロスボウ射撃指導員の<br>指定の基準中<br>（1）「クロスボウに関する法令」とは、銃砲刀<br>剣類所持等取締法、鳥獣の保護及び管理並び<br>に狩猟の適正化に関する法律等の法律、これ<br>らに基づく命令及びこれらに基づく行政庁の<br>処分を指す。<br>（2）「相当な人格識見」とは、クロスボウの射<br>撃に関するものにとどまらず、社会生活全般<br>におけるそれを指す。<br>（3）「相当な知識」、「相当に習熟」とは、一<br>般的な知識、技能にとどまらず、指導の相手<br>方の個別具体的事案に即して指導可能な程度<br>に知識、技能を有するという趣旨である。<br>これらは、指定時の水準を基準として判断する |
| 法 令 名：銃砲刀剣類所持等取締法   |  |                   |                    |                                |                   |   |   |
| 根 拠 条 項：第9条の3の2第2項  |  |                   |                    |                                |                   |   |   |
| 処 分 の 概 要：クロスボウ射撃指導員の指定<br>の解除  |  |                   |                    |                                |                   |   |   |
| 原権者（委任先）：福岡県公安委員会   |  |                   |                    |                                |                   |   |   |
| 法 令 の 定 め：<br><u>銃砲刀剣類所持等取締法第9条の3の2第1項</u><br>（クロスボウ射撃指導員）・第2項<br><u>銃砲刀剣類所持等取締法施行規則第42条の2</u><br>（クロスボウ射撃指導員の基準）   |  |                   |                    |                                |                   |   |   |
| 処 分 基 準：<br><u>銃砲刀剣類所持等取締法施行規則第42条の2</u><br>各号について、その適合性の有無を判断し、い<br>ずれかの項目に不適合と判明すれば、指定を解除す<br>る。<br>なお、同規則に定めるクロスボウ射撃指導員の<br>指定の基準中<br>（1）「クロスボウに関する法令」とは、銃砲刀<br>剣類所持等取締法、鳥獣の保護及び管理並び<br>に狩猟の適正化に関する法律等の法律、これ<br>らに基づく命令及びこれらに基づく行政庁の<br>処分を指す。<br>（2）「相当な人格識見」とは、クロスボウの射<br>撃に関するものにとどまらず、社会生活全般<br>におけるそれを指す。<br>（3）「相当な知識」、「相当に習熟」とは、一<br>般的な知識、技能にとどまらず、指導の相手<br>方の個別具体的事案に即して指導可能な程度<br>に知識、技能を有するという趣旨である。<br>これらは、指定時の水準を基準として判断する |  |                   |                    |                                |                   |   |   |

のではなく、解除の判断を行う時点での水準を基準として判断する。

問 合 せ 先：住所地を管轄する警察署生活安全（生活安全刑事）課又は警察本部生活保安課 092-641-4141、内 3177

備 考：